

【授業名】

現代経営学応用研究（ハイパフォーマンス経営）

【講師名】

森川大輔、奥村真之、大前一樹、坪井祥太

1. 授業テーマと到達目標

【授業テーマと目標】

企業は昨今の不確実性の高い時代において、どのようにして成長を継続させるのでしょうか。継続的に成長している企業の特徴とはどのようなものが挙げられるのでしょうか。

アクセントでは、成長を継続させ、業界をリードしている企業では、先端テクノロジーや新たな働き方を取り入れ、継続的に企業を再創造する「トータル・エンタープライズ・リインベンション（Total Enterprise Reinvention: TER）」戦略を組み込んでいると考えております。

TERは、Generative AI やクラウドコンピューティングなどのテクノロジーとその進化によってもたらされています。これらのテクノロジーは、短期的にも長期的にも大きなビジネス機会を生み出すことが期待されているメガトレンドであると思えます。こうしたトレンドによってデジタル空間と現実空間の垣根は取り払われていきます。

直近では、Generative AI が多大な企業経営へのインパクトをもたらす一方で、データ活用や人材育成、ならびに自社特有のニーズに合わせた基盤モデルの構築には多大な時間・費用が必要となることから、企業の経営陣は早期に取り組みをスタートさせることが求められています。

TERを実現するという事は、新たなビジネスモデルによる新しいコア事業を拡大させていくことで、変わりゆくビジネス環境に適応し” Wise Pivot(軸足のブレない転換)”を実現させていることではないでしょうか。

Wise Pivotをうまく実現させている企業は、「企業経営」と「事業経営」といった2つの経営管理の舵取りを行うことで、ハイパフォーマンスを実現している。「企業経営」とは、人・モノ・カネ・時間という有限な経営資源を活用し、企業全体の利潤を最大化する活動であり、「事業経営」とは「企業経営」を構成する個々の事業において配分された経営資源を活用し、利益を最大化する活動である。

講義では、サプライチェーンマネジメント、マーケティング、経営管理などの業務についてどのような形でGenerative AI が適用され始めているのか解説する。また、これらの領域全てに関わってくるテクノロジーの位置付けやオペレーションの目指す姿について解説する。

【成績評価方法と基準】

- 講義内での発言回数と内容 :30%
- 期末試験としての「学生プレゼン」の内容: 70%

【履修上の注意（関連科目情報等を含む）】

本講義は、ビジネスについての高度な知識や経験は必要としません。知識が無い人でも理解出来るように講義をしたいと思っています。

【学生へのメッセージ】

本講義を通じて、ハイパフォーマンスを創出し続ける常勝企業たるための必要条件を理解し、各企業から参加されている学生の皆様の実務において一助となることを期待します。

【テキスト&参考書】

本講義の内容は多岐に渡るため、指定テキストは利用しません。教員が毎回資料を用意します。

2. 講義スケジュール

下記のような講義計画を予定しています。講義内容は受講者の関心や習熟度に応じ、多少変更する場合がございます。受講生による討議とプレゼンテーションは随時行っていきます。

第1回 ハイパフォーマンス企業の特徴（6月1日1時限）

【講義概要】

イントロダクションとして、本講義のテーマとスケジュールについて説明する。

また本講義の序論として、グローバル企業を取り巻く環境の変化とその環境の中でハイパフォーマンスを創出し続ける常勝企業の特徴について論じる。

【主な講義トピック】

- 企業を取り巻く環境の変化
- ハイパフォーマンス企業における企業経営の特徴

第2回 ハイパフォーマンス企業経営①ーサプライチェーンマネジメント（6月1日2時限）

この約15年で起こってきたこと（震災、疫病、戦争、気候変動、ブロック経済復活の懸念など）はまさに激動でした。このような環境変化が多発する社会におけるサプライチェーンの在り方について、事例を詳解しつつ、議論する。

【主な講義トピック】

- データ駆動型 SCM
- サプライチェーンコントロールタワー
- 需要予測 w/Generative AI

第3回 ハイパフォーマンス企業経営②ー企業における IT（6月8日1時限）

【講義概要】

企業においてテクノロジー力を向上させ、高効率・高成長企業へと転換させるための抜本改革が求められている。クラウド、AI を変革レバーとしたときのテクノロジーの最新動向、データ経営を下支えする IT の在り方を詳解しつつ、議論する。

【主な講義トピック】

- テクノロジートレンド
- データ・AI を梃子にした企業経営
- 企業におけるセキュリティ

第4回 ハイパフォーマンス企業経営③ーマーケティング（6月8日2時限）

【講義概要】

不確実性の高い経営環境下において、人と企業の関係の再構築が求められている。社会情勢の変化やテクノロジーの急速な進化により生活者の意思決定に与える要素が複雑化している。企業は生活者の真のニーズを迅速に掴

み、スピード感をもって変化・変革していく必要がある。マーケティング領域の事例を詳解しつつ、議論する。

【主な講義トピック】

- データ駆動型マーケティング
- マーケティングプロセスの高度化 w/Generative AI
- 今後求められるマーケティングの役割

第5回 ハイパフォーマンス企業経営④ーインテリジェントオペレーション（6月15日1時限）

【講義概要】

日本経済は人口減少していくことが自明である。またデジタル化や人的投資が遅れているためにオペレーションにおける競争力が低く、非効率な仕事をしていることが多いために結果として利益率が低い状態となっている企業が散見される。オペレーション向上に向けた施策・事例を詳解しつつ、議論する。

【主な講義トピック】

- グローバルビジネスソリューション（オペレーティングモデル）
- オペレーションの変革としての業務標準化やテクノロジー（Generative AI）の活用

第6回 ハイパフォーマンス企業経営⑤ー経営管理（6月15日2時限）

【講義概要】

国内市場の成熟に伴い、グローバル競争で勝てる事業の選別と集中が求められる。グローバルで経営情報を入手・可視化した上で迅速な意思決定が必要。本社が目指す経営管理や事業の業績管理の在り方とこれらを支えるテクノロジー（AI活用）を詳解しつつ、議論する。

【主な講義トピック】

- 事業ポートフォリオ戦略
- データ駆動型経営 w/Generative AI

第7, 8回 学生プレゼンテーション（6月22日1～2時限）

【講義概要】

事前に提示した課題についての、受講生諸君によるプレゼンテーションと Q&A。

受講生諸君を数名のグループに分け、グループごとにプレゼンテーションの準備ならびに、発表を行っていた。

【主な講義トピック】

- 事前配布した課題についてのプレゼンテーション並びにディスカッション